

あなたたちからすると、そんな親情だと思います。

この学び舎は決して「思い出づくり」の場だけなどでは無い。就学の機会を提供してくれた両親への感謝の気持ちを忘れず、精励し自己研鑽に励むことです。英国の欧州連合(EU)離脱や株安など景気の先行きに不透明感が出ており、日本企業にも慎重な動きが続き、所得増も見込みにくい現状で、わが子の将来の為に高額な授業料を工面し学び舎へと送り出す両親の苦労を是非とも理解してほしい。欲しいものを諦め、自らの小遣いも切り詰め何とか費用を捻出しているのが殆どの家庭の事情だと思います。

学生時代は、「自分設計と自分投資の時」。社会に出た自分像を描くことで、今何が必要なのかが見えてきます。両親や周囲の意見に流され進路を決めてきた学生や、何も決められぬまま学生という身分に自分が

心の愛情は、時に重苦しく、若さゆえ理解し難いこともあるだろうと思います。私も10~20代前半のころを思い出し、反省することしきりですが、自らの恵まれた環境を知らず、学びの大切な時期を、いたずらに遊びほうけて過ごす事がどれほどもつたいないことか。それは自分で稼ぎ、子育てをして初めて気づくものだと思います。学びたくても環境が許さず、涙をのむ同世代の若者がいることも知つてほしいですし、自ら働き学費を稼ぎながら、目標に向かって一生懸命努力する人たちも存在すること。身近な友人の中にも、そういう学生がいるかもしれないことを理解してほしいです。

## 「若さに贈る」

P T A 会長 山口 好範



第 50 号  
羽工高会報  
2016年9月27日

置き、やりたいことが見つかるまでの猶予期間としている人もいると思います。どのような状況にあっても、眼前の「学び」を怠ることなく、自分自身について考え続けることが何よりも大切と考えます。

時には両親の期待と自分の希望が異なり、対立することもあるかもしれません。そうした通過点でも、相手をどう説得し、または歩み寄り双方の妥協点をどう探せるか、社会人に常に求められるコミュニケーション能力を養うチャンスで、大人への修業の一つと認識することさえできます。

一方、親にとっては、最後の就学が子どもの自立に向けた過渡期、子が働き学費を稼ぎながら、目標に向かって一生懸命努力する人たちも存在すること。身近な友人の中にも、そういう学生がいるかもしれないことを理解してほしいです。

結びに、時代が移り技術が進歩しても、ものづくりや人づくりに込められた想いは変わらない。すべては人々のしあわせのためにあるのだと信じています。



地域共同避難訓練 (H28.7.10)

監会書  
査計記

谷 鶴 石	山 中	木 杉 森 古	畠 瀬 西	寺 菅 和	西 尾 静	屋 三 重	子
本 澤 田	口 田	船 本 田	川 下 戸	村 澤 野	智 文	絵 伸	
千 三 佐	由 由	さ ゆ り	由 香 里	由 香 里	和 美	智 誠	
春 子	薰 紀						

平成二十八年度  
P T A 役員の方々です

会 長 山 口 好 範  
副 会 長 西 屋 和 角 静 香

文 絵 伸 三 重 子  
智 誠 伸 伸 伸 伸  
和 美 伸 伸 伸 伸  
智 誠 伸 伸 伸 伸

## 「自律の児らの 陸まじく」

校長 塩田 憲司



保護者の皆様には、日頃より本校の教育活動推進に多大なご協力と温かいご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

本年度も、五月十八日のPTA総会におきまして、役員改選が行われ、山口好範会長を中心とした新体制がスタートいたしました。寺澤智之前会長をはじめ旧役員の皆様のこれまでの多大なるご尽力に対しまして、改めて感謝申し上げる次第です。

さて、下根校長先生の後任として、今春の人事異動で石川県教委より赴任し、半年が過ぎようとしておりますが、地域にしつかりと根ざし、歴史と伝統のある本校に勤務できることに喜びを感じるとともに、PTAや同窓会をはじめ、地域の方々とお話をする中で、本校への関心・期待の大きさとその責任の重さを感じながら、学校運営に取り組んでいるところであります。

赴任してから、しばしば、本校生徒について地域の方々から連絡をいだくことがあります。「畠仕事をし

ているといつも声をかけてくれると、喜ぶおばあちゃん」「散歩をしていると爽やかに挨拶してくれる」と、絵手紙を送つてくれた地元の方」「千里浜で車の立ち往生を率先して助けてくれたと、電話してくる観光客」「遠足で小学生と一緒に遊んでくれたと、感謝の手紙を送つてくれた校長先生」など、それぞれのエピソードから本校生徒の素敵な心根が伝わってきます。

私は、本校の校歌にある「自律の児らの陸まじく」の一節がたいへん好きです。自律とは、「他からの制約や支配などを受けずに、自分自身で立てた規範に従つて行動すること」ですが、私は、個人の行動だけの視点で捉えるではなく、周囲との関係性の中で捉えるべきものと思っています。つまり、「周囲との関係性の中で、他者の考え方を把握してそれとの調整を図りながら、自分ができること、やるべきことを自らが考へて行動すること」だと思っていました。そして「陸まじく」の言葉には、周囲との協調性の大切さが表現されていると思います。

そして、「こうした生徒を育てるためには、本校のやるべき教育は何であるか、そこを実践していきましょう」とそんな話を教職員としております。

ているといつも声をかけてくれると、喜ぶおばあちゃん」「散歩をしていると爽やかに挨拶してくれる」と、絵手紙を送つてくれた地元の方」「千里浜で車の立ち往生を率先して助けてくれたと、電話してくる観光客」「遠足で小学生と一緒に遊んでくれたと、感謝の手紙を送つてくれた校長先生」など、それぞれのエピソードから本校生徒の素敵な心根が伝わってきます。

私は、本校の校歌にある「自律の児らの陸まじく」の一節がたいへん好きです。自律とは、「他からの制約や支配などを受けずに、自分自身で立てた規範に従つて行動すること」ですが、私は、個人の行動だけの視点で捉えるではなく、周囲との関係性の中で捉えるべきものと思つています。つまり、「周囲との関係性の中で、他者の考え方を把握してそれとの調整を図りながら、自分ができること、やるべきことを自らが考へて行動すること」だと思っていました。そして「陸まじく」の言葉には、周囲との協調性の大切さが表現されていると思います。

今、少子化が進行し全県的に中学校卒業者数が減少していく中で、地域社会を担っていく人材の育成がより一層強く求められています。

「ものづくりは人づくり」を合い言葉に、我々教職員はこうした使命をしっかりと肝に銘じ、学習や進路指導の一層の充実・発展を図るとともに、生徒・保護者のニーズに対応し、個々の生徒の進路実現を果たすなど、魅力ある学校づくり、選ばれる学校づくりを目指して一丸となつて学校運営を推進して参ります。

今後とも保護者の皆様をはじめ地域の方々の変わらぬご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## 平成二十八年度 PTA総会報告

### PTA功労者表彰

功労者表彰として次の五名の方々に山口PTA会長より感謝状をお渡しました。

役歴

副会長、監査

副会長、母親委員長、会計

副会長、西屋美知代様

副会長、葛原伸二様

副会長、書記

会長、副会長、顧問

松坂英司様

だきました。

羽工生の健全育成及び活発な活動のために尽力することを確認し、今年度の出発となりました。

総会に続いて学校活動の紹介が行われ学校経営計画・重点目標・資格検定・進路状況等についてプレゼンテーション形式で説明を行いました。

その後、学年ごとに別れて学年集会が行われました。主な内容として、一・二年生は、学校生活や生活指導についての報告連絡、三年生は、希望する就職・進学の進路実現に向けて取り組みについて報告をし、最後に学級懇談会が行われました。

## 平成二十八年度 PTA総会報告

五月十八日(水)にPTA総会が開催されました。当日は、総会前に各

学科の授業・実習の様子を見近で見て頂く授業参観と沢山の保護者の方々の前で応援歌を大きな声で歌い、

各部の選手がパフォーマンスを交えて勝利の誓いを述べる県高校総体等壮行式が行われました。

総会では、議事次第により、昨年度の事業・会計決算報告及び今年度の事業計画や予算について審議いた



PTA自転車マナー県下一斎指導



県高校総体等壮行式

## PTA自転車マナー 県下一斎指導

去る六月二十二日(水)の朝七時四十分より羽咋駅および学校付近の交差点で、保護者の方々、教職員、生徒会生徒が参加して実施されました。正しい自転車の乗車や横断歩道を渡る際の安全指導が行われました。

### 石川県高等学校 P T A 連合会並びに 高等学校安全互助会の総会報告

六月八日(水)、金沢ニューグランドホテルに於いて開催され、山口 PTA 会長、寺澤副会長、塩田校長、安達教諭の四名が参加しました。総会では、PTA 連合会および安全互助会における議事として、平成二十七年度の事業・決算報告や今年度の予算等について説明があり、すべて承認されました。

## 地区 P T A 懇談会

### 羽咋地区懇談会に 参加して

副会長 森田 和美

羽咋地区 P T A 懇談会は、六月二十八日に羽咋工業高校に於いて開催されました。

校長先生のご挨拶では、通学路のそばで畑仕事をされているおばあちゃん

やんが気持ちの良い挨拶をしてくれた。羽咋工業の生徒がいるので畑に行く仕事を生き甲斐にしていると、わざわざ学校に伝えて下さったときには、心温まる気持ちになりました。

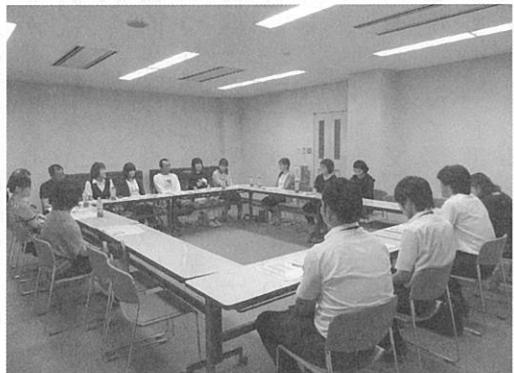
### 志賀地区懇談会に 参加して

監査 鵜澤 三佐子

志賀地区 P T A 懇談会は、六月二十九日(水)志賀町文化ホールに於いて開催されました。

全体会のお話の中で、生徒指導課からスマートフォン使用についてのお話がありました。スマートフォンはとても便利なものではありますですが、使用の仕方を間違えると怖いものだなど改めて思いました。私自身もそうですが、子どもと一緒にスマート

護者の方々が参加して実施されました。参加された保護者の皆様ありがとうございました。



地区 PTA 懇談会・志賀会場

教務課から各学年の中間考査の結果、資格取得等の報告がありました。生徒指導課からプレゼントーションで携帯電話マナー講座を抜粋した説明がありました。生徒も抜粋ではない講座を受けたと聞き、参考になったのではないかと思いました。

学年懇談会では、二・三年生に参加しました。個別の進路相談で、丁寧に説明して頂きました。懇談会に参加して、先生方は生徒のことを見て下さっていると感じ、こんな学校に通うことが出来て良かったなと思いました。

最後になりましたが、保護者の方々もお忙しい中参加して頂き、ありがとうございました。